
山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

センターだより第150号(通巻第217号)

2017年4月14日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※このセンターだよりで紹介した研究会, 研修, 教育フォーラムに関するお知らせは, 改変しない限り, 自由に複写, 配布していただいて結構です。

■ センター長就任のごあいさつ

附属教育実践総合センター長 田中 勝

平成29年4月、附属教育実践総合センターが生まれ変わりました。山梨大学教育学部と山梨県教育委員会との連携による教員育成機能の高度化のためセンターを改組し、体制強化と機能充実を図ることとなりました。具体的にはセンター旧4部門を再編し、「教育実践研究」(改組)、「教職支援」、「教員育成推進」(新設)、「附属学校園共同研究」(新設)の新4部門からなる組織として新たな一歩を踏み出します。ふり返ってみると、センターは平成元年に教育実践研究指導センターとして誕生し、平成13年に教育実践総合センターに改組して現在に至ります。この間、学部改組、大学院設置、山梨医科大学との統合、法人化、教職大学院設置、ミッションの再定義等の大きな波を乗り越え、教員養成や学校教育が直面する現代的課題について着実に研究や実践を積み重ねてきました。今後も、地域に根ざした教育実践のための総合的・中核的施設として附属学校園や県内教育関係機関と緊密に連携し、センタースタッフ一丸となって教員の資質向上のための事業を推進していきたいと考えております。みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

■ 教育実践総合センターのスタッフに加わりました

教員養成推進部門・附属学校園共同研究部門 堀之内 睦男

この度の教育実践総合センターの改組に伴い新たな職の担当としてお世話になることになりました。これまで3年間は、教職大学院の実務家教員として院生さんたちと共に学ぶ日々を過ごしてきました。また、昨年度は甲府市教育委員会の学力向上専門員として、市内の先生方と「甲府スタイル」の授業づくりを通しての授業改善にも携わってきました。

新たな職の主な役割は、教育学部が進める「山梨県教育委員会との連携による教員育成機能の高度化」プロジェクトに関わる県教育委員会や附属学校園等との新たな連携体制を築く取り組みを進めることにあります。具体的な事業内容は、関係機関や関係する皆様と検討しながら、まさに“走りながら創造する”状況になると思います。

本学部の使命は、県内の教員養成大学の核として、山梨の教育を牽引する高度専門職としての

実力と強い使命感を持った教員を育成（養成と研修）することにあると思います。皆様のご理解とご協力をいただく中で、この職を通して少しでもそのお手伝いができればと考えています。微力ではありますが、これまでに培った学校現場や教育行政での経験を活かし精一杯務めますので、どうかよろしく願いいたします。

■ センター着任のご挨拶

教育実践研究部門（教育実践創成講座） 猪股 真弥

山梨大学と県教育委員会との人事交流により、この4月より教育実践総合センターにお世話になることになりました猪股真弥と申します。この3月までは、笛吹市立春日居中学校で、学年主任や数学科の担当をしていました。新しい環境で、まだまだ戸惑いながらの業務になりますが、全力で務めていきたいと考えています。

21世紀は知識基盤社会といわれ、情報化やグローバル化が予想を超えて加速度的に進むと考えられます。この複雑な社会の変化の中で、子どもたちが、人間ならではの感性を働かせて、自分の人生やこの社会をより豊かなものにしていくことが期待されています。そのためには、現場の教師が、児童生徒へきめ細かな対応を行い、「生きる力」を一人一人の子どもたちに、確実に身に付けさせる必要があります。

自分は、実務家教員の一人として、現場の様子を伝えていくのと同時に、教師を目指す学生の皆さんや現職の先生方に、教師の魅力ややりがい・生きがいを伝えていければと考えています。これまで培ってきた微々たる経験ですが、少しでも学校教育現場で先生方のお役に立てるよう一生懸命努力していきますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

■ 教育実践総合センターのスタッフに加わりました

教育実践研究部門（教育支援科学講座） 鳥海 順子

センターの教育相談事業のお手伝いをすることになりました鳥海順子です。以前、センターに所属していましたので、古巣に戻ってきた感じで、懐かしく思います。主に、山梨県との連携事業「子どもと親と教師のための教育相談」を担当します。どうぞよろしく願い致します。

■ 教育実践総合センターのスタッフに加わりました

教育実践研究部門（教育支援科学講座） 田中健史朗

教育学部幼小発達教育コースの田中と申します。昨年度まで教育臨床研究部門の教員であられた藤田博康先生がご退職をされたことに伴いまして、今年度より教育実践総合センターの業務を一部担当させていただくこととなりました。

専門は臨床心理学、カウンセリング心理学であり、スクールカウンセラーや精神科クリニックでの臨床心理士等を行って参りました。これらの専門性を生かし、学校教育における様々な課題に対して取り組んでいきたいと存じます。微力ながら精一杯努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

■ 着任のごあいさつ

教職大学院 客員教授 岡田 正志

4月より中澤勇三先生の後任として教育実践総合センターにお世話になることになりました岡田正志です。年度当初、戸惑いながらも幾つかの会議等を経て、自分の立場と与えられた務めが明らかになり、身の引き締まる思いです。

私事ですが、当センターの前身である教育学部附属教育実践研究指導センターの開設時、附属小学校に籍を置き、多くの先生方にご指導いただいたことを思い出します。また、期間採用者等研修会や山梨大学教師塾に招請され、実践的指導力や教師力向上に関わったことは、自らの学校運営・経営の内省の機会となりました。

これからは、この経験を生かし、大学と現場をつなぎ、新たな体制づくりで進められる育成教育と現職教育との円滑な推進のために、お役に立てたらと考えています。関係者の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

■ センターニュースが発行されました

附属教育実践総合センターでは、センターの1年間の活動の報告と、学部における教員育成に関する話題を提供する広報誌として、「センターニュース」を年度末に発行しています。3月31日に、最新号の第25号が発行されました。教育実践総合センターWebのトップページ

<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>
から、メニューの「センター刊行物」－「センターニュース」とすすんで、ご覧ください。

■ センター研究紀要が発行されました

附属教育実践総合センターでは、教育実践学研究の推進に資する論文の発表の場として、年に1回「センター研究紀要」の「教育実践学研究」を発行しています。最新号の第22号が3月31日に発行されました。教育実践総合センターWebのトップページ

<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>
から、メニューの「センター刊行物」－「センター研究紀要」とすすんで、ご覧ください。

また、センター研究紀要に掲載されている論文の題目、著者、要約、キーワードのみを印刷したリーフレットを配布していますので、ご希望の方は、教育実践総合センター事務室（J424）までおこしください。

これまでのセンターだよりの一部は、<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。